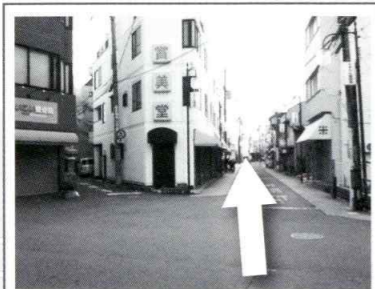
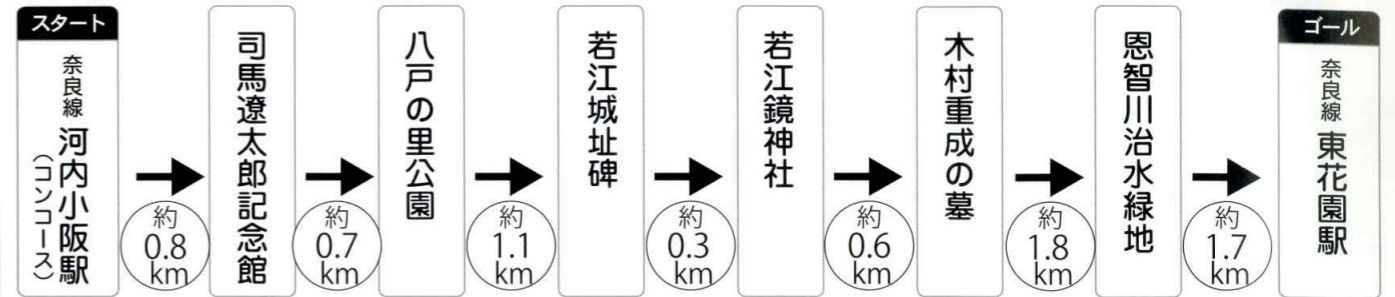


布施駅長お薦めフリーハイキング

2017.2/16(木)

司馬遼太郎が暮した東大阪の街歩き

距離 約 7 km



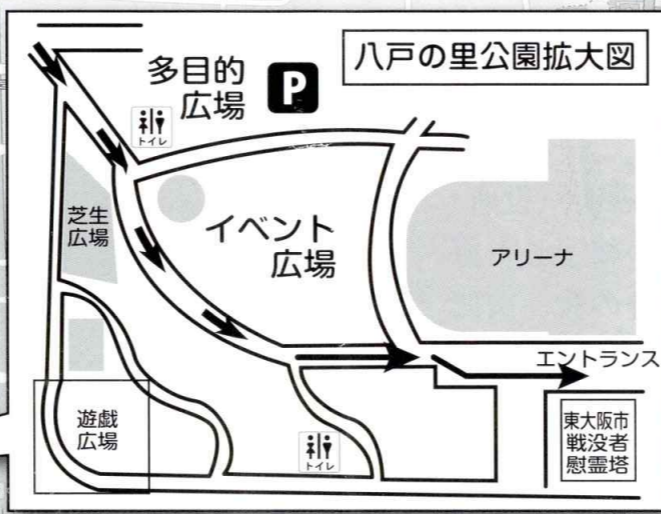
① 宝石店と米屋の間の道路を直進する。

このハイキングマップご提示で入館料 2 割引!! 入館は 10 時~

司馬遼太郎記念館

彌栄神社

八戸の里公園



近畿自動車道の下をくぐります

コンビニ

信号あり

幼稚園

若江城址碑

道狭い

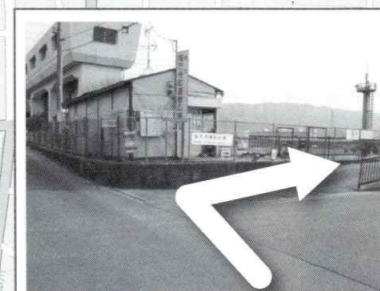
若江鏡神社

一つ目の橋を渡る

木村重成の墓

信号あり

コンビニ



③ 「福万寺町運動広場」の看板を右折し広場入口に入る

恩智川沿いに北に歩く (約 1.5 km)

恩智川治水緑地

自由散策

お疲れさまでした。お気をつけてお帰りください。

ゴール

東花園駅

スタート

河内小阪駅

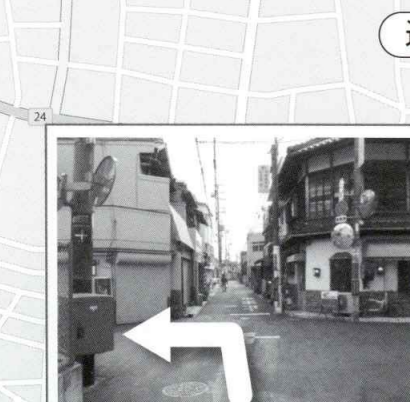
アーケード (スカイドーム小阪)

米屋

公民館

公園

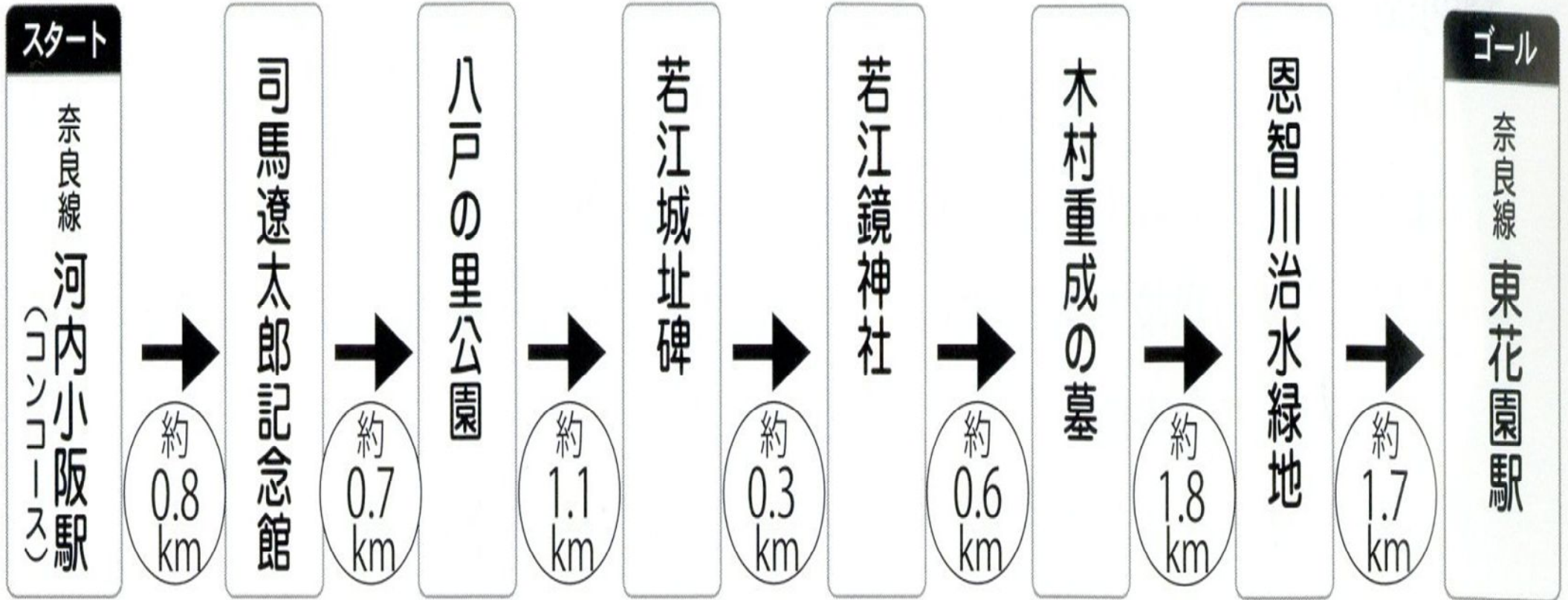
道狭い



② 喫茶店と郵便ポストのある路地を左折する

2017.2/16(木)

司馬遼太郎が暮した東大阪の街歩き



●司馬遼太郎記念館

司馬遼太郎の生家と建築家安藤忠雄氏設計による建物で構成されています。安藤氏は「蔵書で囲われて闇に包み込まれたような、かすかな光の空間のイメージ」を原点に、周辺的环境とも調和するよう設計されました。館内は高さ11メートルの吹き抜け空間に大書架が広がり、約2万冊蔵書をイメージ展示しています。

入館料 大人・大学生500円 高・中学生300円 小学生200円

※平成29年2月16日(木)はこのハイキングマップ呈示で入館料2割引

●八戸の里公園

八戸の里公園には桜の他、いろいろな樹木が植えられています。この付近は昔から浸水が多かったので、その対策として公園の地下には調節池を作り、大雨の時には一時的に雨水を貯留し下水道や河川へ雨水が一挙に流れこむことを防いでいます。

●若江城址碑

若江城は、1382年畠山基国によって築かれ、国を治めるための守護所(役所)とした大きな城であり、城下町も存在したと思われていますが、石山合戦が終了した直後の1580年に廃城となりました。府道をはさんで、北側に若江城址の碑、南側には楠の巨木の元に「社」と刻んだ巨石などがあり、この付近を中心とした南北400m、東西300m位の範囲が若江城跡です。

●若江鏡神社

延喜式にのせられてい古社で、代々若江城主が崇敬し、社領を寄進していたと言われ、若江城の廃城と同じくして織田信長により没収したと言われています。本殿は、銅板葺三間社流造で市の文化財に指定され、北隣には北村重成の位牌がまつられている連城寺があります。

●木村重成の墓

この墓は、宝暦14年(1764年)木村重成の150回忌にあたって、重成の首を落とした安藤長三郎の子孫で、彦根藩士安藤次輝が建てたもので、昭和14年大阪府の史跡として指定されている。

大坂夏の陣で戦死した重成の墓はもとは東へ50mの地点にあったが、昭和42年に第二寝屋川の開削工事により、その川筋にあったので現地点に移されました。

●恩智川治水緑地

恩智川治水緑地は、平常時は運動公園や散策広場等オープンスペースとして府民の方々に利用して頂き、大雨の時には河川からの水を緑地内に一時的に貯留することにより、洪水被害を防止する施設です。この一帯は野鳥が多く、散策場所として人気があります。

布施駅長お薦めフリーハイキング見所のご案内

司馬遼太郎記念館は来館者がそれぞれに何かを感じ取ってくださることを願う、いわば「感じる記念館」です。司馬作品との対話、ご自身との対話などを通じて何かを考えることのできる、そんな空間でありたいと思っています。

また、多くの人たちと文化の輪を広げたい、と願っています。建設のさい、募金を呼びかけたのもその一環でした。「ともに建て、ともに育てる」という想いがあつたからでもあります。約8400件の個人、企業、団体のみなさまからの共感を得て開館できました。

このことをしっかり受け止め、みなさまとともに21世紀を歩んでいきたいと考えています。

記念館と菜の花

司馬遼太郎の命日（2月12日）を「菜の花忌」といいます。このころ、記念館からの呼びかけに応じて周辺のみなさまが育てられたプランターの菜の花が、館内、道路、街角を元気に彩ります。



庭

司馬遼太郎が好きだった雑木林のイメージでつくられています。クス、シイ、クヌギ、ヤマモモ、エゴノキ、スズカケなどの樹木、バラ、ツバキ、モクレン、アシビなどの花木、ツユクサ、タンポポ、ナノハナ、ツワブキなどの草花が四季の風景を演出します。

自然のたたずまいを好んだため、雑草もあまり抜かず、落ち葉もそのままにしています。開館当初からは広がっています。

書齋

ちよつと斜めになつて原稿を書く姿勢にあわせて、机はゆるやかにカーブする変型仕様です。万年筆などの筆記具や推敲のために使つた色鉛筆や大きなルーペが置かれています。

周囲の書棚には、未完に終わった『街道をゆく―濃尾参州記』（朝日新聞出版刊）の執筆で参考にした資料類が収まっています。机の前のソファアでは資料を読んだり休息したりしていました。



新庭
開館当初はなかった新しい庭です。書齋など記念館の全体を見渡すことができます。季節のいいときにご休憩を。



花供養碑
司馬遼太郎自筆の歌碑。2006年春、大阪・河内長野市にあった文化・リゾート施設から移設されました。



公益財団法人 司馬遼太郎記念財団

司馬遼太郎は1996年2月12日、この国の行く末を案じつつ逝きました。小説やエッセイ、紀行文などの作品には、現代の社会が直面しているさまざまな問題へのたくさんの示唆が含まれています。その業績と遺志を永く後世に伝えるため、同年11月1日、「司馬遼太郎記念財団」が発足。菜の花忌シンポジウム、司馬遼太郎賞、フェローシップなど、さまざまな文化活動を展開しています。

みなさまのご支援を得て2001年11月1日、「司馬遼太郎記念館」が東大阪市の自宅に開館。隣接地に安藤忠雄さん設計の建物を建設して一体化しました。2012年4月1日、公益法人制度の改革にともなって「公益財団法人」に移行しました。

私どもは文化の力を信じて、社会に貢献すべく、記念館を核に文化の輪を広げていきたいと考えています。司馬遼太郎がいつも考え、語っていたように。

財団の事業

司馬遼太郎記念館

広い範囲にわたって考えつづけ多くの作品を執筆した司馬遼太郎の精神を伝えていく場であり、財団活動の拠点でもあります。資料・文献などの収集、管理、保存作業を進める一方で、企画展、講演会などを通じてさまざまな発信をつづけていきます。

司馬遼太郎賞

文芸・学芸・ジャーナリズムの広い分野の中で、過去2年間に発表された創造性にあふれ、さらなる活躍を予感させる作品を顕彰。賞の選考と発表は毎年末に行われ、翌年の菜の花忌に贈賞します。

司馬遼太郎フェローシップ

司馬遼太郎は次代を担う若者に期待と希望を抱いていました。この想いをうけて、若者の知的探求心を応援します。満16歳～25歳が対象で、奨励金を贈り、まとめられたレポートを発表します。

菜の花忌や文学などの講演会

司馬遼太郎の命日前後に、毎年、東京と大阪交互で菜の花忌シンポジウムを開催。記念館では講演会、コンサートなどを開き、全国で関連行事を後援するなど文化活動を続けています。

財団の運営・維持にご協力ください

私ども財団の活動は司馬作品の印税の一部、記念館の入館料、グッズの販売などの自助努力と、財団活動の趣旨にご賛同くださる方たちに支えられています。友の会の会員になってともに文化を支える活動を担ってくださいませんか。単なるファンの会ではなく、そういう想いを共有する文化の輪が広がることを願ってのことです。ご寄付も大歓迎です。

「司馬遼太郎記念館友の会」のご案内

●一般会員（年額 3,000 円）になると…

1. 記念館の会誌「遼」（年 4 回発行）をお届けします。
2. 記念館グッズ（「遼」、図録含む）の価格が 10% 引きになります。
※書籍は割引対象外です。
3. 講演会、交流会、ツアーなど友の会の行事に参加できます。
※費用は別で、申込者多数の場合は抽選となります。
4. 講演会など記念館の行事に会員割引価格で参加できます。
※申込者多数の場合は抽選となります。
5. 記念館のカフェの価格が 20% 引きになります。

●個人サポート会員（年額・1口 10,000円）になると…

- 上記 1～5 に加えて
6. サポート会員のみ、菜の花忌（2月）に 1 名様確実に無料で参加できます。ただし、はがきでの申し込みが必要です。
 7. 記念館無料入館券をお届けします。

●企業・団体サポート会員（年額・1口 50,000円）になると…

- 上記 1～7 に加えて
8. 記念館年間無料パスポートをお届けします。
※ただし、1 回につき 1 名様のご入館になります。

【お申し込み方法】

- ゆうちょ銀行の「郵便振替払込取扱票」でお支払い下さい。
（郵便口座 00980-9-16369 加入者名：司馬遼太郎記念館友の会）
- ホームページや記念館受付でもお申し込みできます。
（入会月から 1 年有効ですので随時ご入会いただけます）

寄付のご案内

公益法人へのご寄付は税制面での優遇措置を受けられるようになっていきます（2000円以上のご寄付は税額控除の対象となります）。詳しくは財団事務局（TEL：06-6726-3857）へ。